

星屑

2016 年 6 月号

No. 495

熊本地震速報！
がんばるばい 熊本！



望遠鏡転倒！

一般公開は当分中止

熊本県民天文台

熊本地震発生！ 天文台も被災・・・

2016 年 4 月 14 日、16 日

最初の地震発生

4 月 14 日(木)の夜 21 時 26 分、熊本県民天文台の北東約 8 k m の地点を震源とする M 6.5 の地震が発生した。深さ約 10 k m の地点で発生した、ほぼ直下型の地震だった。

天文台から 1 k m ほど離れた自宅で寝ていた私は、布団ごと持ち上げられ床を滑っていた。何が起きたのか一瞬分からずにうろたえてしまった。とりあえず、けがもなく無事に家内と二人で外に出ることができた。近所の人たちと、余震が次々と続く中、外にシートを広げて避難していた。夜半過ぎの大きな余震の後で、近所を見回ると、神社の鳥居が倒れ、新築の保育園の窓ガラスが枠ごと道路に飛散していた。昼間でなくて良かった。

天文台をのぞいてみると

夜が明けると、近所の惨状が次々に明らかになってきた。夕方になって、天文台をのぞいてみた。一階のミーティングルームは、上の段のスチールロッカーが倒れ、ガラスが飛散していた。台所の食器棚も倒れ、茶碗やコップ類が割れて積み重なっていた。



2 階に上ってみると、何と 41 c m の望遠鏡が倒れていた。土台から少し飛び上がって北側へと移動しながら倒れたらしい。幸いにも、同架したペンタックスの鏡筒は無事だった。もしも、これが一般公開中の地震だったらと思うと、ぞっとした。

また、14 日の夜はとてもいい天気だったので、木星を撮りに天文台に行

こうかどうか迷って、結局行かなかったのだが、行っていたら命を落としていたかもしれない。



望遠鏡のダメージはよく分からないが、階段の損傷具合からして、かなりのものだと考えられる。

いずれにしても、当分の間天文台を使った一般公開は中止せざるを得ない。

そして、本震！！

少しずつ、家の中の整理や外の片付けを進め、近所の人とも明日への希望を語り合って15日の夜になった。私は、倒壊などの被害を免れた自宅で寝ていた。時折余震はあるが、ぐっすりと眠っていた。

4月16日01時25分、約6km離れた地点を震源とするM7.3の地震が発生した。今回の地震は、前日のものと比べて、特に上下方向の揺れが激しく、下から突き上げるような揺れだった。一階の和室で寝ていた私は、布団ごと部屋の中を右へ左へと滑っていた。

とにかく、家の内外から凄まじい音が響き渡り、轟音に家が揺れた。揺れが収まるまでの時間が前日より更に長く感じた。

後は余震がだんだんと収まってくるのを待つだけだと、高をくくっていただけに、ショックは大きかった。

ただ、周りの人たちは、余震を恐れて車中泊をしに近くの市営グラウンドと避難していたので、一人の犠牲者も出なかった。

怒濤の1ヶ月

本震発生後の1ヶ月は、本当にあっという間に過ぎてしまった。

地元自治会の役員として、各家庭の安否確認。その後の支援。さらに、大



量に出る災害ゴミの処理など、毎日休



む暇さえない。さらに、私の勤務先であった地元の中学校は避難所となり、大量の避難者が押しかけてパニック寸前となっていた。地元の区役所支所も学校職員も、こんな事態は全くの想定外で、対応できなかった。1400人に上る避難者の食糧の確保が緊急の課題となった。地元のネットワークで食材の提供やお寺での炊き出し、高校生の有志によるボランティアなどで、何とか最初の4日間を乗り切ることがで



きた。

17日になると、呉市から給水車が到着し、給水活動もスムーズになった。支援物資も大量に届き始め、何とか食事の心配をすることもなくなってきた。



久留米市から炊き出しボランティア

とりあえず、避難所の運営が軌道に乗ったところで、わたしは、地元自治会の活動を始めた。艷島台長も地元自治会会長として避難所の運営に忙しく、近所の会員も被災していた。

天文台再建に向けて

何とかそれぞれの仕事が軌道に乗ってきたのは、5月に入ってからだった。本震後、再び室内のロッカーや書架が倒れ全くドアが開かなくなっていた。



4月26日に台長がドアに穴を開けて

侵入し、何とか通れるようにしてくれていた。29日には高田さんがミーティングルームの片付けをしてくれた。



その後、何度か片付けを続けて、5月19日現在、ミーティングルーム内はすっきりとした。もう一息で安心して部屋の中には入れるようになると思う。



望遠鏡は、艸島台長がジャッキを使ってバランスウェイトを切り離し

た。



その後、チェーンブロックを使って、ウェイトを下ろして分離。さらに鏡筒を切り離した。



天文台の今後の予定

連絡のとれた会員にはけがをした人はないのだが、自宅が被災した人はかなりあるようだ。

5月19日現在、なお地震活動は活発で、会員が集まって総会を開ける状況にはない。望遠鏡も使えないので、天文台2階での一般公開も当分は行えない。しばらく休台を続けることになりそうだ。

地震活動が収束すれば、天文台敷地内での一般公開など、できる活動から再開していきたい。

今後のことは決まり次第お知らせします。

総会

開催する予定あり
期日・場所未定

一般公開

再開時期未定
暫定的に天文台の外での公開も検討中

41cm望遠鏡の再建

再建するかどうかも含めて検討中
地震時の転倒が懸念材料

がんばるばい
熊本

※会員の皆様は大丈夫でしたか？是非皆様の状況等
をお知らせ下さい。

また、星屑送付先の変更等ありましたら、お知らせ下さい。

特定非営利活動法人熊本県民天文台機関誌 「星屑」 2016年6月号 通巻495号
発行所 熊本県民天文台事務局 〒861-4226
熊本県熊本市南区城南町塚原2016番地 熊本県民天文台
TEL 0964-28-6060
振替口座 01700-5-105697
NPO熊本県民天文台事務局
天文台ホームページ <http://www.kcao.jp/> メールアドレス astro@kcao.jp
メンバーリストの加入申し込み受付中 kcaohige2003@yahoo.co.jp 中島まで